

大阪医科大学学報

第94号 平成24年11月
インターネット版



秋海棠

◆目

受賞等について	2
中山国際医学医療交流センター	4
出張報告	7
平成25年度入学試験要項	8
大学院特別講義	13
病院看護部	14
研究助成金等について	16
市民公開講座	17
学内行事	18
行事日程	20

次◆

寄付金報告	21
主要会議報告	24
キャリア形成支援センター	27
大学安全対策室	28
医療安全対策室	29
感染対策室	30
保健管理室からのお知らせ	31
歴史資料館	32
西水会寄付報告・俳句	33
平成24年度医療事故防止標語の入賞作品決定	34

受賞等について

受賞等について

第44回日本臨床分子形態学会総会・学術集会
安澄記念賞受賞
生命科学講座 解剖学教室 大槻 勝紀 教授

大槻勝紀教授（医学部生命科学講座解剖学教室）が、9月28日（金）・29日（土）に高知文化プラザかるぽーと（高知市）で開催された第44回日本臨床分子形態学会総会・学術集会において安澄記念賞を受賞されました。同賞は、初代理事長を務められた安澄権八郎教授を記念した同学会最高の賞であり、学術的業績と学会発展への貢献度を基に選考されます。

受賞タイトルは、『女性生殖器に見られるアポトーシス—特に月経、破水、排卵におけるアポトーシスの役割—』で、今日まで女性生殖器に見られる細胞死の多くはネクローシスと考えられていましたが、女性ホルモン依存的なアポトーシスに起因するという説（Lancet, 1994など）を唱えたものであり、その研究成果が高く評価されました。

さらに学会理事としてMedical Molecular MorphologyのEditor-in-Chiefを務めていること、また昨年には第43回日本臨床分子形態学会学術集会（2011年9月、本学で開催）の会長として学会の進歩発展に大きく貢献をしたことによる受賞となりました。



第57回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会
優秀ポスター発表賞（ゴールドリボン賞）
生命科学講座 解剖学教室 平田 あずみ 助教

受賞タイトル：

『セロトニントランスポーターは口蓋形成に関与する』

セロトニンの機能は多岐にわたることが知られており、個体発生では神経堤由来細胞に存在するセロトニンレセプターを介して、上皮-間葉相互作用の調節因子として頭蓋顎顔面の発生に関わることが報告されています。しかし、口蓋形成へのセロトニンの関与については明らかではありません。本研究は、マウス口蓋形成過程におけるセロトニントランスポーター（SERT）局在を明らかにし、SERTが口蓋突起上皮細胞の分化を調節する可能性を示唆しました。この着眼点は先駆的であるとともに、セロトニンによる口蓋形成制御メカニズム解明の一助となる点で高く評価されました。



受賞等について

平成23年度日本神経生理検査研究会 会長賞受賞
中央検査部 臨床検査技師 和田 晋一 主事

平成23年度に発表した論文、および、長年のこの分野における研究活動が評価され、会長賞を受賞されました。

発表論文：「正中法は各顔面表情筋におけるElectroneurogramを反映するか」



第8回（平成24年度）鈎奨学基金授与式

日 時：平成24年9月19日(水) 12：10～
場 所：本館・図書館棟1階 学長室

[鈎奨学基金研究助成賞]

生化学教室 講師 中井 由実
眼科学教室 講師(准) 喜田 照代

[鈎奨学基金奨励賞]

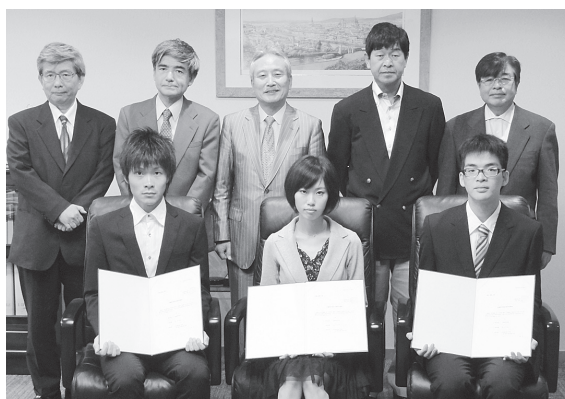
第3学年 後藤 祐子
第5学年 滝本 かきの



第7回（平成24年度）伊藤奨学基金授与式

日 時：平成24年9月24日(月) 12：00～
場 所：本館図書館棟1階 学長室

第3学年 稲垣 諒将
第4学年 鈴木 重徳
第5学年 光藤 詩織



平成23年度 病院経営改善委員会インセンティブ表彰

平成24年9月11日（火）、本館・図書館棟4階 第1会議室において、平成23年度に病院の経営改善に貢献された診療科に対しインセンティブ表彰が行われ、植木理事長より表彰状が授与されました。

[極めて優秀な診療科]

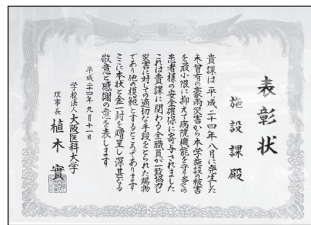
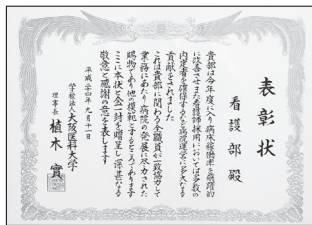
小児科、麻酔科、心臓血管外科、産科・内分泌科、眼科、泌尿器科、消化器内科、血液内科

[優秀な診療科]

循環器内科、神経内科、呼吸器内科、婦人科・腫瘍科、糖尿病代謝・内分泌内科、呼吸器外科
脳神経外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、放射線科、膠原病内科

— 法人表彰 —

学校法人大阪医科大学は、平成24年度に入り病床稼働率を飛躍的に改善し、看護師採用において多数の内定者を確保するなど病院の運営に多大なる貢献された看護部に対して、また、平成24年8月に発生した未曾有の豪雨災害から本学の被害を最小限に抑え、病院機能を守り多くの患者様の安全性に寄与した施設課に対して、平成24年9月11日（火）、本館・図書館棟4階 第1会議室において、理事長より表彰状が授与されました。



■中山国際医学医療交流センター長就任のご挨拶



中山国際医学医療交流センター長 花房 俊昭

本年9月1日より、河野公一教授の後任として、中山国際医学医療交流センター長に就任いたしました。今まで河野教授が推進して来られた海外との交流をさらに発展させ、学生・教職員の海外との交流を通じて、大阪医科大学が世界に飛躍するためのお役に立てるよう力を尽くしたいと考えております。皆様のご指導とご支援を心よりお願い申し上げます。

■海外夏期短期研修生の派遣について

中山国際医学医療交流センター長 花房 俊昭

本学では国際交流推進の一環として、医学部学生・教員の海外研修を積極的に行っていますが、今年8月に交流協定などに基づき下記の各大学に本学学生を派遣しました。

❖ ロシア・アムール医科アカデミー

- 1 研修期間 平成24年8月1日～8月15日
- 2 派遣学生 5年生3名 藤井裕子さん、横川愛さん、夏目大知君

❖ 米国ハワイ大学PBLワークショップ

- 1 研修期間 平成24年8月12日～8月17日
- 2 派遣学生 3年生2名、4年生2名、5年生3名 青木一晃君（3年生）、真野翔君（3年生）、木村あゆみさん（4年生）、新田世衣子さん（4年生）、河野猛嗣君（5年生）、藤田将司君（5年生）、河村佑太郎君（5年生）

以下に夏期研修内容について、ロシア・アムール医科アカデミーの臨床実習に参加した藤井裕子さんに感想を述べていただきました。（他の9人の感想文は中山国際医学医療交流センターホームページに掲載しています）



■ロシア・アムール医科アカデミーで臨床実習を終えて

5年生 藤井 裕子



アルコール性肝炎の患者さんの触診

今回のアムール医科アカデミーでの実習には、諸外国に比べ主体的に様々な医療体験をさせていただけると先輩方からお聞きしたこと、グリー部でロシア民謡を歌った経験があり、ロシアの文化に興味があったことから、参加させていただきました。

病院実習では、日本においては実習する機会のあまりない、身体診察を中心にご指導いただきました。弁膜症の患者さんを聴診させていただき、雑音を聴取したり、肝脾腫の患者さんの触診をさせていただき、肝脾を触れたりなど、OSCEで学んだことを実際に体感することができました。また、重症の糖尿病患者さんや、経過の長い患者さんが多数おられ、自由に医療面接をさせていただけたので、一つの疾患についてだけでなく、他の疾患との関連性や合併症

についてもしっかりと学ぶことができました。

病院実習以外では、博物館や公園を訪れたり、カラオケに行ったり、キャンプに出かけたり、アムール川で船に乗ったり、ロシアンビリヤードをしたり、一般家庭を訪問させていただいたり、本当に楽しい毎日でした。帰国の前々日がたまたま私の誕生日だったのですが、朝、ドアのノックの音で目覚めると、学生さん達が花束と風船とケーキを持って待っていてくれたのには、本当に驚き、うれしかったです。午後にも、手作りのケーキをいただき、素晴らしい医師に、そして良い母親になってほしいとお祝いの言葉をかけていただきました。一生忘れられない素敵な誕生日になりました。

アムール医科アカデミーの学生の皆さんといろいろとディスカッションしていて印象に残ったのは、キャリア形成についてです。3年生の学生の1人が、2型糖尿病のモデルマウスを作製しインスリンの体内動態について研究していると話しており、3年生の約15%は何らかの研究をしているということで、研究への意欲の高さに驚きました。英語学習の面でも、外国人の集まるコミュニティに参加したり、定期的に英会話学校に通ったりと積極的な様子がうかがえました。中には、ハリウッド映画を見たり、英字新聞を読んだり、ほぼ独学のみで流暢に英語を話している学生もおり、自分の英会話能力の低さを痛感し、

中山国際医学医療交流センター

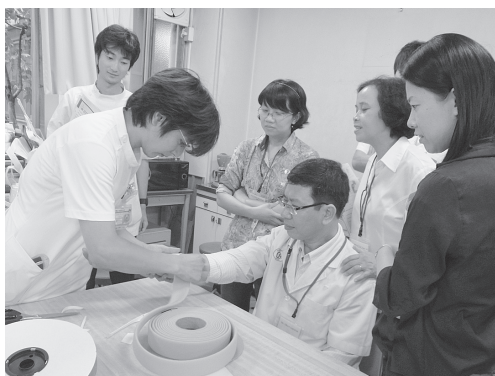
私もっと勉強しなければ、と学習意欲を刺激されました。

また、6年生の学生の一人は、卒業後すぐに、大都市であるサンクトペテルブルグで研修することを決めており、そのために今から準備をしていました。将来、日本で働くことすら選択肢の一つとして考えており、私達にいろいろと質問をしていました。ロシアでは、医師の給与水準が他の職種に比べて低いため、日本の学生よりもずっと真剣に将来を考えていることに脱帽し、翻って自身の今後についても非常に考えさせられました。

今回、私がこのような貴重な体験をすることができましたのも、常時親切にお世話をしてくださったアムール医科アカデミーの医師・学生の皆様方、丁寧にご指導いただいた先生方、ならびに、派遣を支援してくださった大阪医科大学の先生方、中山国際医学医療交流センターの皆様のおかげです。改めて深く感謝を申し上げます。

■平成24年度第3回JICAベトナム国別医療リハビリテーション研修

リハビリテーション医学教室 教授 佐浦 隆一



蓬萊谷耕士先生によるスプリント作成のデモンストラクションを真剣に見つめるJICAベトナム人研修員

独立行政法人国際協力機構（JICA）より依頼のあった標記の研修を平成24年9月18日に行いました。

この研修は平成18年1月から平成20年12月までJICA草の根技術協力事業としてベトナム国チョーライ病院で実施された「地域リハビリテーション及び障害当事者エンパワーメントを通じた身体障害者支援事業」プロジェクトの成果を基盤として計画され、チョーライ病院の医療リハビリテーション技術をさらに発展させるとともに、それらの技術をベトナム南部地域の他の医療機関に広く移転していくことを目的としています。

今回のJICA研修員はチョーライ病院に勤務する理学療法士6名で、大阪医科大学附属病院内やリハビリテ

ーションセンターの見学に前後して、私が「日本の医療リハビリテーションの概要」の講義を行いました。また、講義の後には理学療法士の高山竜二先生、太田善行先生、作業療法士の蓬萊谷耕士先生、言語聴覚士の黒田健司先生とリハスタッフの実務や病院の状況、各専門職の専門性などについて活発な質疑応答を行いました。

ベトナムには理学療法士養成校は3校しかなく、また、理学療法士しか国家資格として認められていないので、理学療法士が作業療法士の業務もあわせて行うことも多いとのことでしたので、作業療法士の蓬萊谷耕士先生にスプリントの作成過程を実演して貰いましたが、非常に好評でした。また、黒田健司先生からの嚥下障害についての説明では、参加した6名は熱心にメモを取り真剣そのものでした。私たちも見習いたい研修態度です。

大阪医科大学附属病院での研修は、午後からの短い時間でしたが、その内容は密度の濃い充実した研修であったと思います。最後に修了証を授与し、参加者で記念撮影後、研修を修了しました。

このプロジェクトは今年度で終了します。今まで大阪医科大学附属病院リハビリテーション科で受け入れたJICAベトナム研修員は医師5名、理学療法士12名、看護師1名の計18名です。この研修員たちが核となり、今後、リハビリテーションがベトナム国中に拡がり根付いて、そしてベトナム国のリハビリテーションが益々発展していくことをリハビリテーション科一同、願っています。

第32回 国内医科大学視察と討論の会

趣 旨 医学教育に関する調査、研究および資料の収集を行い、その成果を医学教育機関に提供することを目的として、毎年日本国内の医学部1校を全国の教員が視察し、討論を行う。

主 催 財団法人 医学教育振興財団

期 日 平成24年9月20日(木)、21日(金)

場 所 昭和大学 旗の台キャンパス

上記の会に出席されました看護学部・瀧井道明教授の報告書をここに掲載致します。(学長 竹中 洋)



■第32回「国内医科大学視察と討論の会」に参加して

看護学部 教授 瀧井 道明

平成24年9月20日から21日、医学教育振興財団主催の「国内医科大学視察と討論の会」に竹中学長、米田教育センター長とともに参加させて頂きましたので、出張報告として記載させて頂きます。

今回の視察対象の当番校は東京都品川区の昭和大学でありました。住宅地の中に位置しており、医学部のみでなく、薬学部、歯学部、保健医療学部も備えた医系総合大学としての視察でした。まず、文部官僚の方の「医学教育の現状と課題」という講演がありました。医療のさらなる高度化、国際化、今後の少子高齢化社会に対応していく時勢の中での、医学教育の時事的な問題点をまとめて聴く機会になり大変勉強になりました。

昭和大学で設定されたテーマは、①1年生全寮制教育、②4学部連携教育、③国際交流、④フォローアップ型地域医療実習、のテーマでしたが、どれも重厚で豊富な内容でありました。

①1年生全寮制教育に関しては、大学本部から100km程度離れた富士吉田で全学部600名もの学生の全寮制教育が施行されていました。同じ医療人を目指す立場での共同生活を経験し、協調性や人間性を育む取り組みとして行われていました。現地での教員の教育体制もしっかりとしており、学生にも好評のようでした。②4学部連携教育については、学生との討議にも参加させて頂きました。4学部合同の1年生の見学実習、3年生のPBLチュートリアル、5年生の病棟実習をはじめとして、学部横断な教育が全大学を挙げて大規模に行われていました。学部連携教育運営委員会という組織が中心となって、調整と運営がされているようでしたが、各学部の教員の協力、準備にも相当の労力を要すると思われました。学生の意見としてもチーム医療を学生時代から直接体験できることを有意義に感じているようでした。学生の卒後、昭和大学病院でチーム医療がスムーズに行われているかどうか、医療機能評価機構などによる事例検証も必要かと思いました。本学でも「医看融合教育」が始まっており、精神科と産婦人科領域では医学生と看護学生の合同の病棟実習が始まっています。大規模な形で先行している事例としては大変興味深いものでした。医系総合大学としての4学部連携教育に対する教員の熱意が感じられました。③国際交流としては、本学と同様な国際交流センターが中心となって、学生の海外研修などが積極的に行われているようでした。④地域医療実習に関しては、診療所や医院での実地研修が3年生と5年生と同一の施設で行われていました。この場合、同一の施設で2年間隔を置いて施行されているという点が特色でありました。

昭和大学の建学の精神は「至誠一貫」すなわち、「常に相手の立場に立って真心を尽くす」ということであるそうです。大学本部が品川区の住宅地に隣接しており、地域に密着した医療人の育成に重点を置いている大学の理念が感じられました。他大学の学長、学部長、教育センター長の教授の方々の出席も多く、熱心に討議され医学教育に対する関心の高さを認識しました。臨床業務が多忙な中で本学でもいろいろな教育改革が行われてきましたが、昭和大学をはじめとして他学でも相当な熱意をもって医学教育が施されていることを知りました。今回の出張をとおして、医学教育の重要性を再認識することができ有意義なものでした。

平成25年度入学試験要項

—— 平成25年度入学試験について ——

平成25年度医学部医学科・看護学部看護学科・大学院医学研究科の入学試験の概要をお知らせ致します。

I 平成25年度 医学部医学科 一般（前期・後期）及びセンター試験利用入学試験 日程

■一般入学試験

試験区分	一般入学試験（前期）	一般入学試験（後期）
募集人員	90名	15名
出願期間	平成24年12月17日（月）～ 平成25年1月31日（木） ※締切日当日消印有効・郵送に限る	平成24年12月17日（月）～ 平成25年2月28日（木） ※締切日当日消印有効・郵送に限る
入学検定料	60,000円	60,000円
1次試験日	平成25年2月10日（日）	平成25年3月10日（日）
1次試験場	【大阪会場】 関西大学 天六キャンパス 【名古屋会場】 河合塾 名駅キャンパス16号館 名古屋校 【東京会場】 大手町サンケイプラザ	【大阪会場】 河合塾 大阪校 【名古屋会場】 河合塾 名駅キャンパス16号館 名古屋校 【東京会場】 大手町サンケイプラザ
1次試験合格発表日	平成25年2月19日（火）16時	平成25年3月15日（金）16時
2次試験日	平成25年2月21日（木） ※1次試験合格者のみに実施	平成25年3月18日（月） ※1次試験合格者のみに実施
2次試験場	本学 本部キャンパス	本学 本部キャンパス
2次試験合格発表日	平成25年2月23日（土）13時	平成25年3月19日（火）13時
入学手続期間	平成25年2月25日（月）～ 平成25年3月1日（金） ※最終日の15時まで	平成25年3月21日（木）～ 平成25年3月27日（水） ※最終日の15時まで

■センター試験利用入学試験

募集人員	5名
出願期間	平成24年12月17日（月）～平成25年1月18日（金） ※締切日当日消印有効・郵送に限る
入学検定料	32,000円
1次試験日	平成25年1月19日（土）・20日（日） （大学入試センター試験）
1次試験合格発表日	平成25年2月23日（土）13時
2次試験日	平成25年2月28日（木）※1次試験合格者のみに実施
2次試験場	本学 本部キャンパス
2次試験合格発表日	平成25年3月1日（金）13時
入学手続期間	平成25年3月2日（土）～平成25年3月8日（金） ※最終日の15時まで

平成25年度入学試験要項

共 通 事 項 (一般・センター)

1. 納 入 金

(単位：円)

項目	初 年 度 納 入 金			2 年次以降 納入金 (年額)
	納期 第 1 期 (入学手続時)	第 2 期 (8 月 31 日)	第 3 期 (12 月 31 日)	
入 学 金	1,000,000			
授 業 料	640,000	620,000	620,000	1,880,000
実 習 料	120,000	120,000	105,000	345,000
施設拡充費	420,000	420,000	420,000	1,260,000
教育充実費	2,000,000	0	0	1,500,000
納 期 別 計	4,180,000	1,160,000	1,145,000	
年度別納入金	6,485,000			4,985,000
6 年 間 総 計	31,410,000			

(注) 上記納入金以外に、入学手続時にPA会(保護者会)会費(年額100,000円)のうち第1期分50,000円および校友会入会金5,000円、校友会会費(年会費)10,000円をそれぞれ委託徴収します。

2. 任意の寄付

入学後、「募金趣意書」により任意の寄付金をお願いします。
※入学前の寄付金募集は行っていません。

3. 既納入金の返還について

入学手続完了者で平成25年3月29日(金)17時00分までに本学所定の書面により入学辞退を申し出た場合、入学金以外の納入金を返還します。
なお、一旦納入された入学手続金の返還時期については4月上旬～中旬以降となりますので予めご了承下さい。また、個別の事情による返還時期の変更等申し出には一切応じられませんのでご注意下さい。

4. 奨学金貸与制度について

本学では、学業・人物ならびに経済的事情等を考慮して、選考のうえ貸与する奨学金制度(年額およそ170万円、無利子)があります。
上記の他、仁泉会(本学同窓会)奨学金、日本学生支援機構奨学金(旧：日本育英会)、その他の奨学金貸与制度もあります。

5. 特別奨学ローン制度・学費分納制度について

【特別奨学ローン制度】

本学に入学した者および在学生の保護者に対して、本学と協定を結んだ銀行(三井住友銀行 高槻支店、三菱東京UFJ銀行 茨木駅前支店)による本学納入金を用途とする特別奨学ローン制度があります。
融資を希望される方は、融資が実行されるまでに相当期間(原則として申し込みから2週間以上)が必要であるため、できるだけ早く各銀行に相談され、お申し込み下さい。

【学費分納制度】

ローン会社(株式会社オリエントコーポレーション)と本学との提携による分納制度があります。なお、ご利用にあたってはローン会社所定の分割手数料が別途必要となります。利用可能なプラン等詳細については事前に必ず、ローン会社までお問い合わせ下さい。

出願資格や各入学試験実施の詳細等については、必ず
入学試験要項(有料：1,200円)の内容をご確認下さい。
資料は下記ホームページから請求可能です。

■入試に関する最新情報は■

大阪医科大学ホームページ : <http://www.osaka-med.ac.jp/>

■入試に関するお問い合わせ■

大阪医科大学 広報・入試センター : TEL 072-684-7117 (直)

平成25年度入学試験要項

Ⅱ 平成25年度 看護学部看護学科 推薦・一般 及びセンター試験利用入学試験 日程

■推薦入学試験

試験区分	特別奨学金貸与推薦入学試験（専願制）	推薦入学試験（併願制）
募集人員	10名	10名
出願期間	平成24年10月15日（月）～ 平成24年11月2日（金） ※締切日当日消印有効・郵送に限る	平成24年10月15日（月）～ 平成24年11月2日（金） ※締切日当日消印有効・郵送に限る
入学検定料	35,000円	35,000円
試験日	平成24年11月11日（日）	平成24年11月11日（日）
試験場	本学 本部北キャンパス	本学 本部北キャンパス
合格発表日	平成24年11月16日（金）13時	平成24年11月16日（金）13時
入学手続締切日	第1次入学手続締切日 平成24年11月28日（水）15時	第1次入学手続締切日 平成24年11月28日（水）15時
	第2次入学手続締切日 平成24年12月7日（金）15時	第2次入学手続締切日 平成24年12月7日（金）15時

■一般入学試験

試験区分	一般入学試験
募集人員	60名
出願期間	平成24年12月17日（月）～ 平成25年1月15日（火） ※締切日当日消印有効・郵送に限る
入学検定料	35,000円
試験日	平成25年1月25日（金）
試験場	関西大学 天六キャンパス
合格発表日	平成25年2月1日（金）13時
入学手続締切日	第1次入学手続締切日：平成25年2月15日（金）15時
	第2次入学手続締切日：平成25年3月1日（金）15時

■センター試験利用入学試験

募集人員	5名
出願期間	平成24年12月17日（月）～平成25年1月18日（金） ※締切日当日消印有効・郵送に限る
入学検定料	15,000円
1次試験日	平成25年1月19日（土）・20日（日） （大学入試センター試験）
1次試験合格発表日	平成25年2月6日（水）16時
2次試験日	平成25年2月13日（水）※1次試験合格者のみに実施
2次試験場	本学 本部北キャンパス
2次試験合格発表日	平成25年2月15日（金）13時
入学手続締切日	第1次入学手続締切日：平成25年3月1日（金）15時
	第2次入学手続締切日：平成25年3月15日（金）15時

平成25年度入学試験要項

共通事項(推薦・一般・センター)

1. 納入金

(単位：円)

項目	納期	初年度納入金		2年次以降 納入金(年額)
		前期(入学時)	後期(9月1日～30日)	
入学金		300,000		
授業料		550,000	550,000	1,100,000
実習料		100,000	100,000	200,000※
施設拡充費		150,000	150,000	300,000
納期別計		1,100,000	800,000	
年度別納入金		1,900,000		1,600,000
4年間総計		6,700,000		

※助産学実習受講者は、4年次の実習料が500,000円となります。

(注) 上記納入金以外に、入学時時に学友会入会金5,000円、学友会会費(年会費)10,000円をそれぞれ委託徴収します。

2. 任意の寄付

入学後、「募金趣意書」により任意の寄付金をお願いします。

※入学前の寄付金募集は行っていません。

3. 既納入金の返還について

入学時完了者で平成25年3月29日(金)17時00分までに本学所定の書面により入学辞退を申し出た場合、入学金以外の納入金を返還します。

なお、一旦納入された入学時金の返還時期については4月上旬～中旬以降となりますので予めご了承下さい。また、個別の事情による返還時期の変更等申し出には一切応じられませんのでご注意下さい。

4. 奨学金制度について

日本学生支援機構奨学金の他、本学独自の奨学金として以下の制度があります。

給付型…ア)1年次については入学者のうち、一般入試の成績優秀者上位4名に対し50万円給付。

イ)2年次については成績、人物ともに優秀で経済的事由があると認める者(各学年4名)に対し50万円給付。

5. 特別奨学ローン制度・学費分納制度について

【特別奨学ローン制度】

本学に入学した者および在学生の保護者に対して、本学と協定を結んだ銀行(三井住友銀行 高槻支店、三菱東京UFJ銀行 茨木駅前支店)による本学納入金を使途とする特別奨学ローン制度があります。

融資を希望される方は、融資が実行されるまでに相当期間(原則として申し込みから2週間以上)が必要であるため、できるだけ早く各銀行に相談され、お申し込み下さい。

【学費分納制度】

ローン会社(株式会社オリエントコーポレーション)と本学との提携による分納制度があります。なお、ご利用にあたってはローン会社所定の分割手数料が別途必要となります。利用可能なプラン等詳細については事前に必ず、ローン会社までお問い合わせ下さい。

出願資格や各入学試験実施の詳細等については、必ず

入学試験要項(無料)の内容をご確認下さい。

資料は下記ホームページから請求可能です。

■入試に関する最新情報は■

大阪医科大学ホームページ : <http://www.osaka-med.ac.jp/>

■入試に関するお問い合わせ■

大阪医科大学 広報・入試センター : TEL 072-684-7117 (直)

平成25年度入学試験要項

Ⅲ 平成25年度 大学院医学研究科（博士課程）一般・社会人・外国人留学生入学試験要項

1. 入学試験

募集人員	54名（一般入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験の合計）		
出願期間	(10月入試) 平成24年9月1日（土）～平成24年9月28日（金）必着 (2月入試) 平成24年12月1日（土）～平成25年1月11日（金）必着		
入学検定料	30,000円		
試験日	(10月入試) 平成24年10月26日（金） 平成24年10月27日（土）	専攻授業科目 外国語・面接	
	(2月入試) 平成25年2月1日（金） 平成25年2月2日（土）	専攻授業科目 外国語・面接	
合格発表	(10月入試) 平成24年11月12日（月）午前9時 (2月入試) 平成25年2月22日（金）午前9時		
入学手続締切	(10月入試) 平成24年12月14日（金）15時迄（締切厳守） (2月入試) 平成25年3月8日（金）15時迄（締切厳守）		

※外国語試験免除制度について

以下の基準を満たす場合には外国語試験を免除します。出願時に該当するスコアの写しを提出して下さい。なお、有効期間は10月入試実施年より起算して過去2年の1月1日以降（平成22年1月1日以降）のものとなります。

- ①TOEIC（590点以上） ②TOEFL（paper：500点以上、iBT：61点以上、CBT：173点以上）
③IELTS（5.5以上） ④実用英語技能検定1級

2. 学費

	初年度学費（入学金含む）			2年次以降学費 （年額）
	第1期 （入学手続時）	第2期 （8/1～8/31）	第3期 （12/1～12/31）	
入 学 金	230,000円			
授 業 料	120,000円	120,000円	110,000円	350,000円
実 習 料	50,000円	50,000円	50,000円	150,000円
合 計	400,000円	170,000円	160,000円	500,000円

3. 奨学金給付制度

大学院入学後、解剖学、病理学、微生物学・感染制御学、生理学、生化学、薬理学、生体分子学、衛生学・公衆衛生学、法医学、心理学の各教室に所属する大学院生に対し、在学期間中に授業料・実習料相当額の奨学金を給付します。給付を希望する場合には、自身が対象となるか事前に担当教授と相談して下さい（対象とならない場合もあります）。なお、外国人留学生は在留資格が「留学」に限ります。

4. 学生教育研究災害傷害保険

大学院在学中、実験・実習などの正課、大学行事、課外活動、大学敷地内における不慮の事故及び通学途中・施設間移動中における交通事故等が発生した場合に対する補償制度です。

本研究科では、大学院在籍中により安心して研究活動を推進できるよう学生教育研究災害傷害保険（通学中中等傷害危険担保特約保険含む）Bタイプ及び医学生教育研究賠償責任保険（医学賠）に全員加入しています（費用は本研究科が負担しています）。

5. 長期履修制度

社会人入学試験を経て入学した学外にて勤務する臨床医、開業医、または本学にて勤務するレジデント等の身分を有する大学院生や、育児、介護等の事情によりやむを得ない事情が生じた大学院生のうち希望者を対象に、標準修業年限（4年）を超えて一定の期間（5年）にわたり計画的に研究を進めて修了を目指すことができるよう長期履修制度を導入しています。

これにより、初期臨床研修2年目やレジデントからの早期に大学院に入学して医学研究に取り組む若手医師等のキャリア形成を支援します。

文部科学省「大阪医科大学医学部・大学病院の教育研究活性化及び地域・へき地医療支援人材の確保事業」大学院特別講義開催

文部科学省平成24年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）「医学部・大学病院の教育・研究活性化及び地域・へき地医療支援人材の確保」に採択された「大阪医科大学医学部・大学病院の教育研究活性化及び地域・へき地医療支援人材の確保事業」の一環として、同事業で提携先医療機関である公立神崎総合病院から講師として中山一郎内科診療部長をお招きし、大学院特別講義が開催されました。

テーマ：『地域医療の現場』～ハートのふれあう地域医療をめざして～

日 時：平成24年10月24日（水）17：00～18：30

場 所：学 I 講堂（講義実習棟2階）

講 師：公立神崎総合病院 内科診療部長 中山 一郎先生

出席者は、大学院生に限らず、教員・職員と多岐に及んでおり、地域医療に対する関心が幅広い層に及んでいることが伺えました。

特別講義では、地域医療の実際について公立神崎総合病院における豊富な実例を交えながら、地域の人々に密着した医療の在り方を分かりやすくご解説頂きました。



また、特別講義に先立って、同日午後3時から補助事業の運営に関する会議を開催し、派遣先の公立神崎総合病院からは、打村昌一病院長、中山一郎内科診療部長、細岡弘之事務長、松本大主査、本学からは竹中洋学長、黒岩敏彦病院長、林秀行研究機構長、石坂信和教授、寺本邦洋助教（准）の出席により、補助事業の今後について、情報交換と意見交換が行なわれました。



会議では、この事業で公立神崎総合病院に派遣されている寺本邦洋助教（准）から、この事業に参加して得られたこと、現地での体験談等について語られるなど、和やかな雰囲気の中で忌憚のない意見交換が行なわれました。

病院看護部

*** 新たな認定看護師が誕生しました ***

救急看護認定看護師

救急外来 主任 住 良太郎

救急看護の対象は、多種多様な疾病を有したあらゆるライフステージの患者様とご家族です。救急の場面においては、少ない情報から短時間で緊急度・重症度を判断し、迅速に適切な対応をしなければなりません。また、救急看護においては、救命のみにとどまらず社会復帰を見据えて心身の障害を最小限にとどめることが重要となっています。

今回、大阪府看護協会が主催する日本看護協会認定の教育課程を修了し、救急看護認定看護師の資格を取得しました。現在は、救急患者様の対応を中心に救急外来で活動しています。また院内トリアージ・電話トリアージなどの病院受診時のシステムの変更にも取り組んでいます。

さらに役割の中では看護実践を通して、患者様への心くばりも大切にしながら救急看護を展開することを心がけ、周囲の役割モデルとなれるよう努力しています。

院内の活動として、今年度は看護部の災害対策委員会、救急カート運用に関する医療改善委員会に参加しています。活動を通してリスク管理と災害時の救急看護の質の向上を目指し、各部署を横断的に活動したいと思っています。

院外活動においては幅広く病院搬送前、災害時なども対象になることから、地域の施設などで救急蘇生・外傷初期診療などの救命処置について研修会の間を通して指導・相談などを行っています。

院内外を問わず救急看護の充実および質の向上のため、一層の努力を行いたいと思います。

ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いします。



感染管理認定看護師

看護部 看護師長 高橋 典子

感染予防対策は患者や療養者に関するすべての医療従事者が適切に実施しなければ効果が得られません。感染管理認定看護師の専門性は、医療関連感染の予防と管理を実践するのに必要な専門的知識と技術をもちい、安全で質の高い医療を提供することにあります。またその役割は、患者様だけでなく病院に関わるすべての人の感染防止のために、設備なども含めた感染管理の在り方にも関わり改善をはかること。感染防止対策だけでなく流行感染症全般における感染管理の最新情報を提供することなども含まれます。

このたび、日本看護協会神戸研修センター感染管理認定看護師教育課程を修了し認定看護師認定資格を取得することができました。看護師が感染管理を担う意義は、看護師が患者様の最も近くに存在し、様々な処置ケアに直接携わり密接に観察できることにあります。その視点で本院の感染予防対策に貢献できるよう努めてまいります。

現在放射線科外来に勤務し兼任の認定看護師として外来での感染予防対策に関わっています。職員の皆様と感染対策について共に考え行動に移してゆけるよう、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



■ 男性看護師会 ～コメディカル交流会を開催して～

34病棟 看護師 宮本 陽介

院内の男性看護師の数は平成24年度現在31名となりました。人数が増え活動の幅も広がり、様々な企画を計画しています。今年度は院内での交流を深め、相談しやすい関係を築くことを目的に、3月・9月に男性看護師会主催でコメディカル交流会を開催致しました。看護部を始め、臨床工学技士、リハビリテーション科、保育士、放射線技師、人事課といった分野から参加頂き交流会を行うことができました。

看護学部からは荒木孝治教授にも参加頂き、現在の学生の声や大学の今後の展望などについても教えてくださいました。その中で今後入職される学生に対し、当院の魅力について知って頂く活動も必要と感じました。

普段の職場環境で他職種との交流の機会は少ない、しかしチーム医療はまず連携であり人対人の繋がりが大切だと考えています。交流会は情報交換の場であり、各部署の繋がり場になっています。あらゆる部署との連携と人間関係が整うと、最終的には的確であり迅速な質の高い看護の提供ができると考えています。

今後の展開としては交流の幅を拡大しつつ、連携の強化を図りたいと考えています。計画段階ではありますが、小児科でのレクリエーションの実施、看護学部との連携として学生に向けた活動報告、院外活動においては他院男性看護師との情報交換会を行っていきたいと思っています。男性看護師が長所を生かしてリーダーシップを発揮し、看護の質の向上と看護の発展に貢献できればと考えていますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



研究助成金等について

研究助成金等について

■2011年度助成金（社団法人日本老年医学会内 ノバルティス老化および老年医学研究基金）

研究課題名	氏名（所属名・職名）	助成金額
駆出率の保たれた心不全におけるIgG4関連自己免疫の関与についての検討	石坂 信和 （内科学Ⅲ・教授）	150万円

■平成24年度医学研究助成（財団法人 大阪難病研究財団）

研究課題名	氏名（所属名・職名）	助成金額
胃食道逆流症に対する内視鏡的噴門部粘膜切除の有用性の評価	太田 和寛 （消化器内科・レジデント）	100万円

■平成24年度医学研究助成（財団法人 大阪難病研究財団）

研究課題名	氏名（所属名・職名）	助成金額
膝腫瘍に対するEUS-FNA検体でのK-ras遺伝子解析	小倉 健 （内科学Ⅱ・助教（准））	100万円

■平成24年度医学研究助成（財団法人 大阪難病研究財団）

研究課題名	氏名（所属名・職名）	助成金額
進行再発大腸がんに対する化学療法の毒性軽減についての臨床研究	紀 貴之 （化学療法センター・助教）	100万円

■平成24年度学術助成（ファイザー株式会社）

研究課題名	氏名（所属名・職名）	助成金額
外反母趾患者の足底圧とバランスに関する研究	奥田 龍三 （整形外科学・診療准教授）	50万円

■2012年度 研究会等の開催支援（公益財団法人 武田科学振興財団）

研究課題名	氏名（所属名・職名）	助成金額
第37回 日本小児体液研究会 研修医・若手小児科医のための輸液セミナー	芦田 明 （小児科学・講師）	100万円

○研究協力課から処理（申請・機関承認等）しました公募助成金他のうち、内定・採択を確認できたものを掲載しています。

研究協力課へ掲載依頼のため情報提供下さったものを含めています。

平成24年度科学研究費助成事業交付内定について

平成24年5月に日本学術振興会へ申請した6件の新規研究計画に対し、平成24年8月31日付1件の交付内定がありました。

《科学研究費助成事業（科学研究費補助金）》

■研究活動スタート支援

（単位：千円）

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	継続	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
壮年期における、多機能携帯端末を用いた甘味飲料摂取改善による減量プログラムの開発	看護学科	講師	月野木ルミ		1,200	1,100	0	0	0

平成24年度 市民公開講座

■第4回

平成24年9月15日（土）14：00～ 臨床第一講堂

「知っておきたい1歳までの乳幼児期の成長発達」
周産期センター 助教 大植 慎也

「授乳中に気をつけたいお薬の話」
附属病院薬剤部 鈴木 典子

「乳児の発達をはぐくむ育児支援」
NICU(新生児集中治療室)看護師長 森田 美千代



回	開催日	演 題	担当	薬剤部演題	講演薬剤師
				看護部演題	講演看護師
第5回	11月17日(土)	「腰部脊柱管狭窄症～腰下肢の痛み、しびれで長く歩けない～」	整形外科科学教室 教授 根尾昌志	骨を丈夫にするお薬と仲良くする方法	窪田理沙
				下肢の痛みやしびれに対する日常生活上のストレスケアと工夫	秦 八重子
第6回	12月15日(土)	「肝癌の治療」	一般・消化器外科学教室 教授 内山和久	肝臓がんのお薬との付き合い方	花房加奈恵
				肝臓がん手術後に日常生活で気をつけたいこと	坂田愛美
第7回	平成25年 1月19日(土)	「噛める喜びを可能にする最新技術－歯科インプラント治療－」	歯科口腔外科学教室 教授 植野高章	感染症の予防はお口のケアから(口腔ケアのお薬について)	早坂 大
				おいしく食べ続けるために	檀上明美

平成24年度 高槻市大学交流センター事業「市民講座」

[第1回]

平成24年10月4日（木）16：30～18：00
高槻市総合市民交流センター7階 第6会議室
『予防できる病気と治療を必要とする病気』
大学院医学研究科 教授 吉田 龍太郎



[第2回]

平成24年10月11日（木）16：30～18：00
高槻市総合市民交流センター7階 第6会議室
『病原微生物との上手なつきあい方?』
～感染制御学入門～
医学部 微生物学教室 准教授 中野 隆史



[第3回]

平成24年10月18日（木）16：30～18：00
高槻市総合市民交流センター7階 第6会議室
『より安全で安心な医療をめざして』
附属病院 医療安全対策室 室長 村尾 仁



学内行事

消火器取扱訓練および地震体験の実施

平成24年9月5日（水）高槻市中消防署の協力により、消火器取扱実地訓練と起震車による地震体験が行なわれました。また、本年度より布担架取扱い訓練も追加となりました。

新入職員をはじめとする約60名の参加者は、消火器や布担架の取扱い方、地震の揺れを体験し災害対策への認識を新たにしました。



院内コンサート

平成24年10月27日（土）午後2時から、附属病院外来ホールにおいて、本学室内管弦楽部、グリークラブ、内科学Ⅰ・花房教授、内科学（総合診療科）・浮村教授他による演奏会が行われました。最後に全員で「ふるさと」を合唱し、来聴者全員が楽しいひと時を過ごされました。



保育室運動会



10月13日（土）、爽やかな晴天に恵まれ、本学保育室の運動会が行われました。お母さんの膝に抱かれての親子触れ合い遊びでは、動物のお面をつけて、かわいらしい笑顔を見せてくれた子ども達。リズム遊びやかけっこ、どのプログラムでも子ども達の頑張る姿に、拍手拍手！保護者の方々、職員皆で楽しみ、充実したひとときとなりました。

人権教育特別講義



平成24年度の人権教育に関する特別講義が下記のとおり開催されました。

日時：平成24年10月18日（木）17：00～18：00

場所：臨床第一講堂

演題：『子どもの人権をどう考えるか』

講師：あすなろ法律事務所 弁護士 岩本 朗 氏

(<http://www.asunaro-l.gr.jp/profile/>)

平成24年度 大学祭



今年は「和」をテーマに10月13日（土）、さわらぎキャンパスにおいて「大学祭」が開催されました。

午前10時に米田医学部教育機構長の挨拶がされ、その後、米田医学部教育機構長・荒木看護学部学生生活支援センター長で鏡割りが行われました。

同キャンパスのグラウンドに設けられた野外特設ステージでは、軽音学部ライブを皮切りに、仮面ライダーショー、トークイベント、学生イベント、ビンゴ大会など、多彩な催し物が行われ、トークイベント終盤に竹中学長もステージ上で挨拶をされました。

又、グラウンドでは市民の皆様参加によるフリーマーケットも行われました。

キャンパス内の他の箇所においても、各クラブが様々な工夫をこらしたイベントや出展などや模擬店等行い賑わいを見せていました。

広域医療連携センター 発足式

去る10月4日（木）本館食堂におきまして『広域医療連携センター発足式』が催され、本学職員40名が参加しました。

理事長、病院長、センターの各室長、看護部長からご挨拶をいただき、センター職員への期待と激励の声が寄せられ、スタッフはあらためて結束の思いを強めました。

※ 次号にて、広域医療連携センターをご紹介します。



第64回 西日本医科学学生総合体育大会

第64回西日本医科学学生総合体育大会が岡山大学医学部を代表主管校として行われました。西日本44大学が参加し、岡山を中心会場にして8月上旬にかけて20種目の競技が行われました。

本学の主な成績は以下のとおりです。

総合成績：33位

サッカー	ベスト16	スキー	3位
バレー女子	ベスト16	弓道	個人 5位 三宅輩弥
バスケット女子	ベスト16		男子団体 12位
バドミントン男子 団体	ベスト16	準硬式野球部	ベスト16
水泳男子	総合13位		
	200m自由	2位	石橋聖之
	800m自由	5位	久保田康介
水泳女子	400m自由	4位	新田世衣子
ハンドボール		6位	
ラグビー		ベスト8	
男子ゴルフ 団体		14位	
空手		ベスト16	

今年の総合成績は33位でした。参加された選手の皆様本当にお疲れ様でした。また来年も頑張ってください。

先輩諸氏、教職員の皆様、今後とも暖かいご支援、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

平成24年 学友会 会長 吉村 桃

学内行事 行事日程

平成24年度 解剖慰霊祭

日時：平成24年10月20日（土）14：00～15：00
場所：高槻現代劇場大ホール



名誉・功労教授懇談会

日時：平成24年10月26日（金）11：30～
場所：たかつき京都ホテル 玄の間



■主な行事日程(平成24年12月～平成25年2月)

12月3日(月)	病院長・副院長会議	6日(水)	診療科長会 医学研究科教授会 看護学部臨時教授会
5日(水)	診療科長会 医学研究科教授会		看護学部センター試験利用入学 試験1次試験合格発表
11日(火)	理事会	10日(日)	医学部一般入学試験(前期)1次 試験
12日(水)	看護学部教授会	12日(火)	理事会
15日(土)	平成24年度第6回市民公開講座	13日(水)	看護学部センター試験利用入学 試験2次試験
19日(水)	医学部教授会	15日(金)	看護学部臨時教授会 看護学部センター試験利用入学 試験2次試験合格発表
25日(火)	大学協議会 医学部・看護学部冬期休暇 (～1月4日)	19日(火)	医学部教授会 医学研究科臨時教授会 医学部一般入学試験(前期)1次 試験合格発表
平成25年		21日(木)	医学部一般入学試験(前期)2次 試験
1月4日(金)	年賀交歓会	23日(土)	医学部臨時教授会 医学部一般入学試験(前期)2次 試験合格発表 医学部センター試験利用入学試 験1次試験合格発表
7日(月)	病院長・副院長会議	25日(月)	大学協議会
9日(水)	診療科長会 医学研究科教授会 看護学部教授会	28日(木)	医学部センター試験利用入学試 験2次試験
15日(火)	理事会		
19日(土)	平成24年度第7回市民公開講座 大学入試センター試験(～20日)		
23日(水)	医学部教授会		
25日(金)	看護学部一般入学試験(前期)		
28日(月)	大学協議会		
2月1日(金)	看護学部臨時教授会 看護学部一般入学試験(前期)合 格発表		
4日(月)	病院長・副院長会議		

*** ご寄付のお願い ***

大阪医科大学では、大阪医科大学基金および教育環境整備事業など各種事業への募金を募集しています。

皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

大阪医科大学へのご寄付は、税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

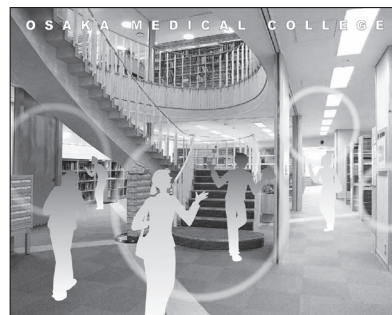
【税制上の優遇措置とは】

<個人の方のご寄付>

平成23年度税制改正により、既存の「所得控除」に加え、寄付者の選択により新たに「税額控除」の適用を受けられるようになりました。寄付金の約40%（ただし、所得税の25%が限度）が所得税額から控除されます。

<法人の方のご寄付>

一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入することができますし、あるいは「受配者指定寄付金」として寄付金全額が損金に算入できます。



教育環境整備のための
募金のお願い



学校法人
大阪医科大学

●現在募集中の募金の種類です。

- ① 教育環境整備事業募金
- ② 大阪医科大学基金
- ③ 附属病院の整備事業募金
- ④ 別館講堂「机募金」
- ⑤ 「別館」・「歴史資料館」維持事業

募集要項につきましては、本学ホームページ（<http://www.osaka-med.ac.jp/>）の「ご支援のお願い」から、お入りください。

■大阪医科大学基金へのご寄付

<寄付金申込者>

平成24年7月7日から平成24年9月30日までの間の寄付金入金件数は61件、金額は11,340,000円です。ここに寄付金申込みをいただきました方のご芳名を掲載させていただき感謝の意を表します。

なお、募集当初から平成24年9月30日までの間の寄付金入金件数は475件、金額は66,228,000円です。

（順不同・敬称略）

株式会社関西ローマテリアル 大阪府済生会泉尾病院 医療法人社団蘇生会 株式会社類設計室
 医療法人ラポール会青山病院 医療法人大植会 社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会茨木病院
 医療法人東和会 医療法人社団洛和会洛和会音羽病院 医療法人寺西報恩会長吉総合病院
 医療法人毅峰会吉田病院 医療法人奥田眼科学園前診療所 公立宍粟総合病院 有限会社すばる印刷
 神戸掖済会病院 東京海上日動火災保険株式会社 医療法人信愛会新生病院 医療法人福田診療所
 医療法人社団林整形外科医院 キングラン関西株式会社 社医療法人廣仁会直原ウイメンズクリニック
 宗教学法人在日本南ブレスビテリアンミッション淀川キリスト教病院 社会保険紀南病院 株式会社陽進堂

寄付金報告

株式会社ハーフ・センチュリー・モア 株式会社メディテイク ギター・マンドリンクラブOB会
医療法人恵生会 医療法人公仁会 医療法人恒昭会
山田 隆司 祐森 弘子 福本 攻 広石 隆 門口 保男 田中 満 山口 春雷
木野 昌也 山本 哲也 多胡 和司 米田 正國 林田 嗣郎 匿名10件

※毎年継続したご寄付の申込みは、「大阪医科大学基金（通称・フレンズ基金）」で承っております。
ご支援賜りますようお願い申し上げます。

■ 附属病院の整備事業募金へのご寄付

<寄付金申込者>

平成24年7月7日から平成24年9月30日までの間の寄付金入金件数は5件、金額は4,550,000円です。
ここに寄付金申込みをいただきました方々のご芳名を掲載させていただき感謝の意を表します。
なお、募集当初から平成24年9月30日までの寄付金入金件数は109件、金額は27,840,000円です。

(順不同・敬称略)

医療法人進愛会
佐々木 進次郎 田中 清子 佐々木 雄史 匿名1件

■ 教育環境整備事業募金へのご寄付

<寄付金申込者>

平成24年7月7日から平成24年9月30日までの間の寄付金入金件数は5件、金額は8,500,000円です。
ここに寄付金申込みをいただきました方々のご芳名を掲載させていただき感謝の意を表します。
なお、平成24年4月1日から平成24年9月30日までの寄付金入金件数は25件、金額は37,230,000円です。

(順不同・敬称略)

医療法人淳和会
岡本 一善 荒木 信子 匿名2件

■ 別館講堂「机募金」へのご寄付

<寄付金申込者>

平成24年4月1日から平成24年9月30日までの間の寄付金入金件数は1件、金額は300,000円です。
ここに寄付金申込みをいただきました方のご芳名を掲載させていただき感謝の意を表します。
なお、平成23年1月1日から平成24年9月30日までの寄付金入金件数は11件、金額は4,800,000円です。

(順不同・敬称略)

中井 丈夫

■ 「別館」・「歴史資料館」維持事業募金へのご寄付

<寄付金申込者>

平成24年4月1日から平成24年9月30日までの間の寄付金入金件数は1件、金額は220,000円です。
ここに寄付金申込みをいただきました方のご芳名を掲載させていただき感謝の意を表します。
なお、募集当初から平成24年9月30日までの寄付金入金件数は43件、金額は5,823,460円です。

(順不同・敬称略)

中井 丈夫

■ ご支援をお考えの皆様へ

ご寄付のお手続き方法

1. 大阪医科大学ホームページよりダウンロードした寄付申込書にご記入のうえ、FAXまたはご郵送ください。

- ご郵送先：〒569-8686
大阪府高槻市大学町2番7号
- FAX：072-681-3723

2. お近くの金融機関より下記口座にお振り込みをお願いします。

口座名義	学校法人大阪医科大学募金口
振込先	三井住友銀行 高槻支店
口座番号	普通預金 2161078

※本学所定の振込用紙をご利用して三井住友銀行の本支店で振込みされた場合は、お振込手数料は無料です。振込用紙は募金推進本部までご請求ください。

3. ご入金のご確認ができ次第、領収書とお礼状をお送りいたします。

(備考) 寄付申込書は、本学ホームページ (<http://www.osaka-med.ac.jp>) の「ご支援のお願い」から、お入り下さい。

寄付金に関する
お問合せ

学校法人大阪医科大学 募金推進本部

受付時間／平日9：00～16：30

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

TEL:072-684-7243(直通) FAX:072-681-3723 E-mail:kikin@art.osaka-med.ac.jp

主要会議報告

■主要会議とその主な議題(平成24年8月～10月)

【理事会】

[平成24年8月7日]

—審議事項—

1. 理事の選任について
2. 学校法人大阪医科大学給与規則の一部改正について

—報告事項—

1. 担当理事運営会議報告について
2. 日本私立医科大学協会報告について
3. 中央手術棟設計プロポーザルについて
4. 病院経営改善委員会報告
5. 大学院新研究科寄附行為変更認可スケジュールについて
6. 学事関係報告
7. 病院関係報告

[平成24年9月11日]

—審議事項—

1. 予備費の使用について

—協議事項—

1. 大阪医科大学中央手術棟(仮称)建設計画プロポーザルについて
2. 旧大阪府府営住宅建物の解体について
3. 平成25年度学納金について

—報告事項—

1. 担当理事運営会議報告について
2. 日本私立大学連盟報告について
3. 学事関係報告
4. 病院関係報告
5. 大阪医科大学職員等医療費補助内規の取り扱いについて

[平成24年10月9日]

—審議事項—

1. 大阪医科大学学則の一部改正について
2. 予備費の使用について
3. 設計会社の選定について
4. 北園住宅の解体について
5. 学長選挙のあり方について

—報告事項—

1. 予算の編成方針について
2. 担当理事運営会議報告について

3. 日本私立大学連盟・日本私立医科大学協会報告について

4. 学事関係報告

5. 病院関係報告

6. その他

【大講座主任教授会】

[平成24年8月8日]

—審議事項—

1. 任期付教員の再任にかかる事前審査について
2. 医・歯・薬学分野における教員評価スタンダードモデルについて

[平成24年10月10日]

—審議事項—

1. 任期付教員の再任にかかる事前審査について
2. 医・歯・薬学分野における教員評価スタンダードモデルについて
3. 大学基準協会の大学評価再受審について

【医学部教授会】

[平成24年9月5日](臨時)

—審議事項—

1. 生命科学講座生化学教室担当教授の選考について
2. 生体管理再建医学講座救急医学教室担当教授の選考について

—報告事項—

1. 理事会報告
2. 学長報告
3. 教育機構長報告

[平成24年9月19日]

—審議事項—

1. 人事に関する件
2. 平成25年3月末日で定年退職される教授について
3. 大阪医科大学学則別表3及び大阪医科大学医学部及び看護学部における学費納入に関する取扱規程別表の一部改正について
4. 大阪医科大学図書館規程の一部改正について
5. 大阪医科大学廃棄物取扱規程(案)の新設について

6. 中山国際医学医療交流センター運営委員の推薦について
7. 生命科学講座生化学教室担当教授の選考について
8. 大阪医科大学研究に関する利益相反マネジメント規程の一部改正について

—報告事項—

1. 学長報告
2. 教育機構長報告
3. 中山国際医学医療交流センター長報告
4. 倫理委員長報告
5. 研究機構長報告
6. その他

[平成24年10月3日](臨時)

—審議事項—

1. 学長予定者選考について
2. 生命科学講座生化学教室担当教授の選考について

—報告事項—

1. 学長報告

[平成24年10月17日]

—審議事項—

1. 人事に関する件
2. 平成25年3月末日で定年退職される教授の名誉教授資格について
3. 平成25年3月末日で定年退職される専門教授の功労教授資格について
4. 生命科学講座生化学教室担当教授の選考について
5. 生体管理再建医学講座救急医学教室担当教授の選考について
6. 総合医学講座病理学教室担当教授の選考について
7. 平成25年度医学部入学試験の件
8. 学校法人大阪医科大学中山国際医学医療交流センター規程の一部改正について

—報告事項—

1. 理事会報告
2. 学長報告
3. 教育機構長報告
4. 倫理委員長報告

5. 市民公開講座運営委員長報告
6. 中山国際医学医療交流センター長報告
7. 特定生物安全管理委員長報告
8. その他

【医学研究科教授会】

[平成24年9月5日]

—審議事項—

1. 退学願について
2. 学外研修許可願について
3. 研究生の所属変更について
4. 医学研究科修士課程設置準備検討結果報告について
5. がんプロフェッショナル養成基盤推進プランについて
6. 助教の大学院教員化について
7. 平成24年度ティーチング・アシスタントの追加申請について

—報告事項—

1. 平成25年度大学院入学試験願書受付について
2. 平成25年度科学研究費助成事業のスケジュールについて
3. 京都大学iPS細胞研究所シンポジウムについて

[平成24年10月3日]

—審議事項—

1. 学外研修許可願について
2. 平和中島財団平成25年度外国人留学生奨学生への申請について
3. 助教の大学院教員化について

—報告事項—

1. 平成25年度入学試験出願状況について
2. 大学院特別講義について
3. 平成24年度野口遵研究助成金について

【大学協議会】

[平成24年8月27日]

—協議事項—

1. 学長予定者選挙実施に向けたタイムライン(案)について

主要会議報告

〔平成24年9月24日〕

―協議事項―

1. 助産師国家試験受験資格希望者の選考について
2. 大阪医科大学学則別表及び大阪医科大学医学部及び看護学部における学費納入に関する取扱規程別表の一部改正について
3. 学長予定者選考について
4. 医・歯・薬学分野における教員評価スタンダード・モデルについて

〔平成24年10月22日〕

―協議事項―

1. 教員評価の活動記録シート及び活動報告シートについて
2. 看護学部図書経費について

【看護学部教授会】

〔平成24年9月4日〕(臨時)

―審議事項―

1. 大阪医科大学学長予定者選考規程に関する件
2. 第3学年実習科目の履修要件の判定について

―報告事項―

1. 中山国際医学医療交流センター委員の推薦について
2. 大学安全対策委員会報告について
3. 学生ロッカーについて

〔平成24年9月12日〕

―審議事項―

1. 実習施設の追加について
2. 平成25年度学事日程及びオリエンテーション日程について
3. 助産師国家試験受験資格希望者の選考に関する申し合わせ事項について
4. 大阪医科大学看護学部特別奨学金貸与規程について
5. 大阪医科大学看護学部奨学金貸与規程について
6. 「異文化看護学入門」の授業について
7. 医中誌と科学技術振興機構のデータベースへの登録と著者抄録利用許諾について
8. 平成25年度入試に関する業務について
9. 国際交流推進の活動について
10. 第2学年学生の復学について

11. 実習科目の履修要件判定について
12. 第1学年フィジカルエグザミネーション講義、実習、試験の教員配属について
13. 実習室物品の実習室外での使用に関する取り決めについて
14. 就職支援のキャリア講演について
15. 2012年度第3学年学生に対する国家試験及び受験対策について

―報告事項―

1. 新研究科設置準備委員会報告
2. 大学安全対策委員会報告
3. 入試実務委員会報告
4. 大阪医科大学看護学部PA会総会について
5. 平成25年度科学研究費助成事業応募について
6. 各種センター報告
 - 1) 学生生活支援センター報告
 - 2) 教育センター報告
 - 3) 看護実践研究センター報告
 - 4) 実習調整委員会報告
 - 5) 国際交流推進委員会報告
 - 6) 就職支援委員会報告
 - 7) 国家試験対策委員会報告
7. その他
 - 1) 看護師特定能力認定に関する医行為分類(案)及び教育内容等基準(案)に関する意見募集にかかる説明会について

〔平成24年10月10日〕

―審議事項―

1. 実習施設の追加について
2. 非常勤実習補助員の上申について
3. 平成25年度学事予定表(案)について
4. 総合実習について
5. 国家試験対策委員の追加について
6. 国家試験対策について
7. 平成24年11月～平成25年度教授会日程(案)について
8. 新研究科科目編成について
9. 受託研究・共同研究の審査会の検討について

―報告事項―

1. 大学協議会報告について
2. 新研究科設置準備委員会報告
3. 大阪医科大学看護学部PA会総会について

4. 「異文化看護入門」の授業計画について
5. 各種センター報告
 - 1) 学生生活支援センター報告
 - 2) 教育センター報告
 - 3) 看護実践研究センター報告
 - 4) 実習調整委員会報告
 - 5) 国際交流推進委員会報告
 - 6) 看護師確保プロジェクト委員会報告
 - 7) 年報編集委員会報告
 - 8) 予算委員会報告
6. その他

- 1) 保育所立替計画について
- 2) 看護学部同窓会について
- 3) 特別講演について
- 4) 多目的室の使用について
- 5) 看護実践研究センターの使用について

〔平成24年10月17日〕

—審議事項—

1. 中山国際医学医療交流センター規程改定案について



■医学部学生が第44回日本医学教育学会大会において堂々発表

平成24年7月27日～28日、横浜市港北区日吉の慶応義塾大学日吉キャンパスにおいて開催されました第44回日本医学教育学会大会におきまして、医学部学生5年生柏谷貴之君他12名が「医学生による多科大学合同シミュレーション教育ワークショップを開催して」との演題でポスター発表をしました。

彼等はMTSセンターの開設に伴い、メディカルトレーニングクラブを結成、種々のシミュレーターを駆使して臨床技能を学んできました。この技術をさらに深めて自らのものにしようと、近隣の医科大学に呼びかけてシミュレーション教育ワークショップを今までに数回開催してきました。

今回、第2回目のワークショップで得られたアンケート結果を基に、上記のような内容で発表しました。

この夏一番の暑い日と思われる日、朝からポスターを貼り午後からの発表に備えました。参加したクラブ員6名は、他大学の見事な発表に少々気圧されながらも、淡々と準備して来た自分たちの演題を堂々と発表することが出来ました。難しい質問もありましたが、発表時間外にポスター前に来られた方々からいろいろと質問され、シミュレーションスキルスラボへの関心の高さが伺えました。

今回、一泊二日の学会出張でしたが、学生にとっては初めての体験であり、適度な緊張感を味わう事が出来て良い経験になったと思われました。



写真左から河井弘幸君、清水秀浩君、近藤敬一郎教授、柏谷貴之君、松井聡介君、山本圭以さん、夏目大知君



発表する柏谷貴之君

大学安全対策室

■大学安全対策室からのお知らせ

大学安全対策室 室長 河野 公一

平成24年9月6日に大学安全対策委員会が開催され、各小委員会より以下の報告等がなされました。薬品管理小委員会より、化学物質等管理状況の巡視結果が報告され、各教室等に結果をフィードバックしました。また、茨木保健所より麻薬等保有調査の実施指導があり、10月に調査を実施しました。その結果を臨時の大学安全対策委員会にて報告しました。調査におきましては、ご協力いただき感謝申し上げます。環境管理小委員会より、「大阪医科大学廃棄物取扱規程（案）」「廃棄物取扱手引き」の報告がなされました。規程（案）においては、教授会、担当理事運営会議を経て承認されました。個人情報小委員会より、委員の追加報告がありました。

さらに、各小委員会報告以外に本学の災害対策の現状が報告され、今後も継続して検討が行われる予定です。

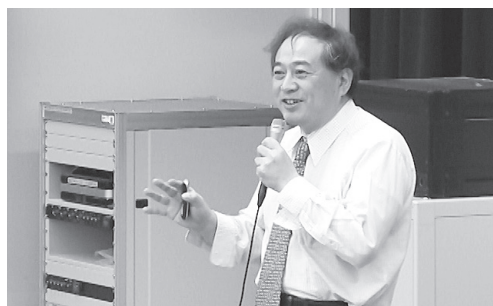
10月16日学長の提案により事例検討会が開催され、化学物質の適正管理について検討されました。その一環として教室等における化学物質調査委員会が設置され、化学物質保有調査を行いました。

前回に引き続き、平成24年10月9日に東京大学大学院新領域創成研究科の大島義人教授による研修会「廃棄物だって大変です」を開催しました。

『廃棄物だって大変です』

～実験研究現場における廃棄物対策～

東京大学大学院新領域創成科学研究科
NPO法人「研究実験施設・環境安全教育研究会」理事長
大島 義人



* 実施した研修会のDVDや安全に関する書籍の貸出をいたしますのでご利用ください。

【連絡先】

大学安全対策室（総合研究棟1階）内線3404、3405

E-mail sps000@art.osaka-med.ac.jp

URL www.osaka-med.ac.jp/deps/sps/index.html

(学内限定ですが、上記URLよりご意見をお寄せいただける入力フォームを用意しております。皆様のご意見をお待ちしております。)

大学安全対策委員会
災害対策の現状報告
麻薬等保有調査の結果報告
薬品管理小委員会
化学物質等保管状況の巡視結果報告 麻薬等保有調査の実施
環境管理小委員会
「大阪医科大学廃棄物取扱規程（案）」「廃棄物取扱手引き」を作成
個人情報小委員会
看護学部より委員の追加
教室等における化学物質調査委員会
化学物質全保有調査の実施
研修等
東京大学・大島義人教授による研修会「廃棄物だって大変です」を開催（平成24年10月9日）

■第33回 特別講演会

日 時：平成24年 9月19日（水）17：00～18：00

場 所：臨床第一講堂、臨床第二講堂

演 題：「真実説明・謝罪指針の実践」

演 者：社会保険 相模野病院 病院長 内野 直樹 先生

出席者：612名

演題は「真実説明・謝罪指針の実践」であったが、内容は非常に多岐にわたり、その中でもトップマネジメントの大切さがヒシヒシと伝わってきた。演者の人柄が際立った講演会であったと思われる。

今回は社会保険相模野病院の病院長で、全国社会保険協会連合会（以下「全社連」という。）の51病院で、医療安全対策委員会の中心的立場でご活躍されている内野直樹先生をお招きして開催した。内野先生は全社連が「ハーバード謝罪マニュアル」を導入する際に、多くのスタッフの中でも中心的に活躍された方である。

黒岩病院長の開会挨拶に続き、村尾医療安全対策室室長の司会により、特別講演会が進行していった。

講演内容を紹介すると、基盤となるのが「真実説明」で、その事を職員全体が認識することで医療従事者と患者・患者家族との信頼関係が構築され、職員一人一人が人に見られて恥ずかしくない行動ができるようになる。また、医療事故が起こった時に当事者も被害者であり、組織が第2の被害者となった当事者をどの様に守っていくかの「職員保護規程」の制定が必要であると話された。

演者の先生のこの姿勢（真実説明）は職員の意識改革を起こし、病院に誇りを持ち、病院に愛着を持つ職員が増えたに違いない。

終了後アンケートを実施したところ、実に出席者の約70%から回答が有り、92%が内容に付いて理解できたと回答している。この様な内容の特別講演会は初めての試みであったが、医療安全対策室として今後も引き続き、この延長線上で活動して行きたい。



講師の内野直樹先生

**職員を愛してくれない病院を
あなたは愛せますか？**

**申し訳ありませんが、
私は変な患者より
職員がはるかに大事です！**

***** お知らせ *****

『医療に係る安全管理のための職員研修』（事例検討会・特別講演会等）の出席は、医療に係る全ての職員（常勤・非常勤・アルバイト・派遣・委託職員等も含む）が年2回以上出席し、安全に関する意識の向上等を図るものとされています。

研修会へご出席できない方については、DVDの貸し出しや医療安全対策室横研修室で随時DVDが視聴出来ますのでご利用下さい。（お問い合わせ：医療安全対策室 2号館5階 内線2990）

■第11回感染対策特別講演会 報告と口腔ケアチームの院内感染対策活動

口腔外科学教室 教授 植野 高章

「がん治療をお口のトラブルで中断させないための口腔ケア」—がん医療従事者に必須の口腔管理知識—という演題で、平成24年9月5日(水)に第11回感染対策特別講演会講師として静岡県立静岡がんセンター口腔外科部長：大田洋二郎先生にご講演をいただきました。口腔内の細菌が術後の発熱、肺炎などに関連しており、手術前の口腔ケアにより口腔内の細菌を減少することで、発熱、肺炎などが有意に減少するエビデンスを示していただきながら口腔ケアについてとてもわかりやすくお話しいただきました。また抗がん剤、放射線療法などのがん治療において発生頻度の高い合併症としての口腔粘膜炎とそれに伴う痛み、口腔乾燥などについてもお話しいただきました。治療中の激しい口腔粘膜炎のために食事摂取ができなくなったり、耐え難い疼痛のために治療継続ができなくなり中断を余儀なくされることもあることを、実際の症例写真や発生頻度グラフなどをお示しいただき、そのメカニズムや治療法を説明いただきました。抗がん剤治療や放射線療法治療を行う上で、医療従事者が口腔粘膜炎を正しく



大田先生：症例写真や楽しい話題をご提供いただきながらの講演は大盛況でした



予測し、適切な口腔衛生管理(口腔ケア)対象療法を行うことの重要性を理解することができ大変に有益だったと思います。

また今年4月より口腔衛生管理が歯科の保険診療点数導入(口腔衛生管理策定料300点、衛生管理300点：入院月2回)され、病院収益にも大きく貢献すること

もご解説いただきました。

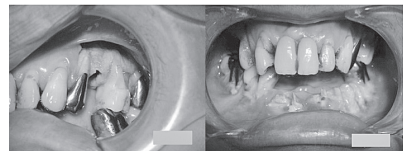
大阪医科大学附属病院歯科口腔外科においても、2011年11月1日に口腔ケアチームを発足しました。入院中の患者さんの口腔衛生管理を行うことで誤嚥性肺炎予防や、頭頸部外科手術症例の術後感染症の発生予防、抗がん剤や放射線療法による口腔粘膜炎などの発生を予防し、各科入院患者さんの治療がスムーズにいくよう努めています。

また当科では2ヵ月に一度、病棟看護師を対象に口腔ケアのための歯ブラシ法や口腔保湿の実習を行い、院内での口腔ケアの活動に力をいれているところです。お口のトラブルや治療でお困りの場合は是非お気軽に歯科口腔外科口腔ケアチーム(寺井陽彦口腔外科学准教授、西郷看護師 歯科口腔外科フロアリーダー)までご相談ください。



大阪医科大学附属病院での口腔ケア実習風景66病棟

最近、骨粗鬆症治療やがん骨転移治療薬に使用されるビスフォスフォネート製剤(以下BP製剤)と関連した顎骨壊死が急増し注目されています。ゾメタ®注射液や経口ステロイド・BP製剤使用中の患者さんが、虫歯や歯周炎などで抜歯を行うと、非常に難治性の顎骨壊死を引き起こしBP製剤使用の中断を余儀なくされます。こうした治療の中断を起ささないためにもBP製剤開始前の歯科口腔外科での口腔チェックを受けていただき抜歯が予測される場合は事前に抜歯することなどで発生率を大きく低下させることができます。



乳がん骨転移治療BP製剤使用により発症した顎骨壊死

このようにがん治療だけでなく、様々な疾患を治療する際に口腔衛生管理を行うことで予期しなかった治療中断を避けることができます。大田先生のご講演を機に是非とも院内の感染対策の中で口腔ケアをご活用いただけましたら幸いです。

保健管理室からのお知らせ

■ 平成24年度職員定期健康診断について

10月15日(月)～10月26日(金)に平成24年度職員定期健康診断、有機溶剤・特定化学物質健康診断、及び大学院生の特定業務従事者健康診断を実施しました。

健康診断は、「自分の健康、生活習慣を考える」良い機会ですので、所見の有無に関係なく今回の健康診断結果を活用して、自分自身の体の状態や生活習慣を振り返ってみましょう。

未だ健康診断を受けていない方は、早急に健康診断を受けて、結果を保健管理室まで提出して下さい。

【健康診断の結果が・・・】

- ▶▶ 「正常範囲内」の方は、
異常が無くても昨年の結果と見比べたり、生活習慣を見直してみましょう。『バランスよい食事』『楽しく運動』『ゆっくり休養』を！！
- ▶▶ 「要経過観察」「要医師指導」の方は、
放置せずに必ず再検査・受診をして下さい。また再検査や受診の必要がなくても、食生活、運動、喫煙、飲酒など生活習慣を見直し改善しましょう。
- ▶▶ 「治療中」の方は、
健診結果を主治医に見てもらいましょう。

歩数計の貸し出しを行っています！

生活（身体活動）パターンや消費カロリーの推移を1日単位でグラフ化し、客観的に見ることが出来ます。是非、ご利用下さい！

■ インフルエンザワクチン接種について

11月5日(月)～9日(金)にインフルエンザワクチン接種を実施しました。インフルエンザの予防には流行期前（11月頃）のワクチン接種が有効です。未だワクチン接種を受けておられない方は他の医療機関を受診し、ワクチン接種をお奨め致します。

【発熱、咳など疑わしい症状が出現した場合】

罹患が疑われる症状が出現した場合、業務や講義、実習を止めて、上司や保健管理室（学生の場合）に報告し指示を仰いで下さい。またインフルエンザと診断された場合は出席停止となります（学校保健安全法）。昨年、インフルエンザと診断されたにも関わらず、講義に出席した学生がいました。大学内、病院内での感染防止、感染拡大防止のため、軽率な行動をとらないようにしましょう。



■ 3回目B型肝炎ワクチン接種・3回ワクチン接種後抗体検査のお知らせ

下記の要領で第3回目B型肝炎ワクチン接種、3回ワクチン接種後抗体検査を実施致します。対象となられる方には案内を個人通知致しますので、受検して下さい。

	第3回目B型肝炎ワクチン接種	3回目ワクチン接種後抗体検査
日 時	平成24年12月6日(木)、7日(金) 15:30～16:30	平成25年1月23日(水)、24日(木) 15:00～16:00
場 所	保健管理室（研究棟1階）	

■ 医学部学生、看護学部学生の感染症抗体検査のお知らせ

下記の要領で臨床実習前の医学部4年生、看護学部2年生を対象に、「麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎」の抗体検査を実施します。掲示物などで案内しますので、必ず受けて下さい。また抗体検査の結果、“抗体価なし”“抗体価が低い”場合はワクチン接種をお勧めしています。

【日 時】平成25年1月8日(火)～11日(金)

【場 所】保健管理室

歴史資料館

■歴史資料館からのお知らせ

高槻市の依頼により、平成24年度大学交流センター事業として「夏休み子ども大学」が、下記の通り開催されました。

日時：平成24年8月9日（木）14：00～16：00
場所：歴史資料館、図書館、研究機構
テーマ：歴史資料館を探検しよう！
講師：歴史資料館館長 佐野 浩一
対象：高槻市内 小学5年生～6年生
参加費：無料
参加者：10名（定員）



■歴史資料館特別公開講座

歴史資料館特別公開講座が、下記の通り開催されました。

日時：平成24年10月6日（土）14：00～15：00
場所：別館3階 講義室
演題：ヴォーリズ建築、設計の底流にあるもの、また…。
講師：株式会社 一粒社ヴォーリズ建築事務所
代表取締役所長 田中 健一 氏
共催：高槻市
参加者：約90名



【 歴史資料館展示資料恵与者 】

平成24年8月1日から同年9月30日までに1名の方（別表）よりご恵与を賜りました。本事業の趣旨をご理解いただきましたご厚意に対しましてここに改めて心よりお礼申し上げます。（敬称略）

受領日	恵与者氏名	資料名	恵与者と本学との関係
H 24.9.28	酒井タカ子	講義ノート117点・教科書51点・医療器具7点・顕微鏡1点他9点 合計185点	高医 昭和26年卒 故 酒井 孝敏 氏 三女

西水会寄付報告

平成24年度、西水会食事会で実施いたしました募金の総額は、¥100,523でした。

感謝状

(私) 大阪医科大学
西水会様

このたびは、ユニセフ募金へのご協力ありがとうございます。
 (私) 大阪医科大学のみなさんが、世界の子もたちが直面する問題について考え、ユニセフに協力してくださったことを心強く思います。みなさんからの募金は、世界150以上の国と地域でユニセフのさまざまな活動に大切に使わせていただきます。
 ユニセフは、貧困、紛争などの厳しい状況下で懸命に生きる子どもたちを支え、すべての子どもの権利が守られる世界を目指して活動を続けています。
 これからも同じ地球に生きる仲間として力を合わせ、よりよい世界を築いていきましょう。

2012年08月17日

公益財団法人 日本ユニセフ協会
ユニセフ学校募金委員会
会長 赤松 良子

unicef

イラスト © 平嶋美英

領 収 書

GG2 46507569
2012年08月17日

569-8686
高槻市大学町
2-7

〔私〕 大阪医科大学
西水会様

9901 0608740

¥100,523 迄

上記の金額がユニセフ募金として
振込金に計上。

公益財団法人 日本ユニセフ協会
ユニセフ学校募金委員会
〒100-8607 東京都千代田区千代田
ユニセフ会館

財団法人日本ユニセフ協会が公益財団法人の認定を受け、2011年4月1日に公益財団法人日本ユニセフ協会となりました。

このたびはユニセフ学校募金にご協力を賜り、誠にありがとうございました。
ここに領収書および感謝状をお送りいたします。ご協力いただきました皆様へよろしくお伝えいただければ幸いです。
今後とも引き続きユニセフの事業にご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。末筆ながら貴校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

-ユニセフ資料請求先-

- パンフレット、ポスター、チラシなど…学校事業部 TEL 03-5789-2014
- ビデオ、パネルなどの視聴覚教材…ユニセフライブラリー TEL 03-5471-7091

◆大阪医科大学俳句会（八・九・十月）

口あいて烏のあゆむ大暑かな	西鶴忌黒板書のメニューかな	絵日記に人より大きき鬼やんま	返信の来ぬも返信酔芙蓉
梵燈のあかりに蟲を聴く古刹	再会は兼六園の泉殿	カンナ燃ゆ午後の郵便局の閑	露草にしやがみ真昼の星に逢ふ
ベルと呼ばれし女優西鶴忌	そそくさと終へる体操蟬時雨	ゆきざりの掌を置く灼けし百度石	筆癖に友の貌みる風見舞
軍手掌に農夫の仰ぐ鱗雲	夜学果てつれたち帰る蟲の間	蟲の夜の仏間の燭は残しおく	
山崎隆司	同	中川一成	同
吉田孝江	同	飯塚久子	同
宮脇芳美	同	寺田千代子	同
羽根美恵子	同	谷口文子	同

● 平成24年度 医療事故防止標語の入賞作品決定 ●

医療事故の防止対策および医療安全に対する理解や認識を深めることを目的とし、今年度も「医療の安全を確保するための標語」を募集、43部署から180作品のご応募があり、以下のとおり各賞が決定いたしました。

入賞作品

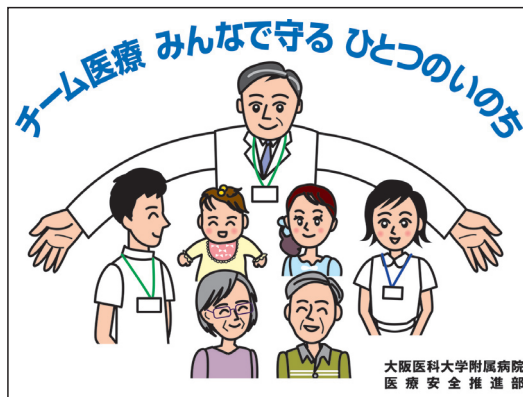
◎理事長賞（臨床工学室）



◎病院長賞（看護部63病棟）



◎医療安全推進部長賞（診療情報管理室）



◎佳作

- ・あいさつは 職場の “見えない絆” です (総務部 人事課)
- ・A：あせっても K：かくにん作業 B：ばっちり (糖尿病代謝・内分泌内科)
- ・ありがとう 感謝の気持ちを大切に (看護部54病棟)
- ・「ま、いいか！その気持ちが要注意」 (病院事務部 庶務二課)
- ・危険の芽 毎日続ける 摘む努力 (血液浄化センター)

● 病院ボランティア活動のご紹介 ●



今年の夏から、新たに季節の飾りの作品展示場所がふえました。

7号館携帯電話ブースには小さな壁飾りを、外来化学療法センター待合室には壁・窓ガラスへ写真を展示しています。11月には7号館1階ラウンジコーナーにも写真を展示します。

また、がん相談支援室カウンターに、「にこちゃんエコたわし」を持ち帰り用にご用意しています。ご自宅で眠っているアクリル毛糸があれば、寄贈いただければ大変助かります。ふれあいスタッフの手によりエコたわしが生まれ、患者さまの笑顔に変わります。

患者さまに季節を感じていただき、笑顔のプレゼントとなるように、ふれあいスタッフが心をこめて作っています。

連絡先：大阪医科大学附属病院 広域医療連携センター 病院ボランティア担当 内線2515

表紙絵：秋海棠（シュウカイドウ）

自然を愛する亡父の好みもあり、生家の庭は、草ぼうぼうで、季節に応じて、野草が芽吹く。そんななか直射日光が当たらない、明るい、湿気の多い場所に、秋口になると赤い枝先に淡紅色の花を付ける「秋海棠」は、今も強く目に焼き付いている。

江戸時代初期、寛永年間に中国から園芸用に長崎に持ち込まれた。中国名「秋海棠」を音読みにした。地上部が1年で枯れる球根植物。花の咲く8～10月になると茎の頂点から花を付ける赤い枝を伸ばし、2～3cm程度の花が咲く、いかにも秋到来と言った感じである。名誉教授 富士原 彰

個人情報の取扱について：

平成17年4月1日から個人情報保護法が施行されました。これに伴い本学では、学報の発送にかかる個人情報につきましては、個人情報保護法を遵守し、適切な管理を行っております。なお、収集・管理する個人情報につきましては、発送の目的以外に使用することはありません。学報に関する個人情報についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

大阪医科大学 総合企画部 学報編集担当係 電話 072-683-1221代
E-mail : gakuho@art.osaka-med.ac.jp

大阪医科大学学報 第94号

発行年月 平成24年11月

発行 学校法人 大阪医科大学

編集・発行 総合企画部

印刷 大日本印刷株式会社

大阪医科大学ホームページ

<http://www.osaka-med.ac.jp/>